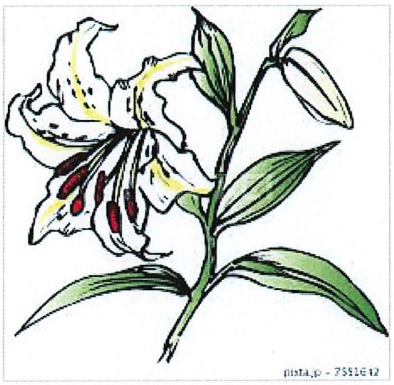
令和３年度

事業報告書



自　令和　３年　４月　１日

至　令和　４年　３月３１日

社 会 福 祉 法 人

やまゆり福祉会

令和３年度事業のまとめ

総括

令和３年度は、新型コロナウイルス感染症のまん延による影響を昨年度に引き続き受け、今年度も多くの行事は中止又は変更を余儀なくされるなど利用者への影響が少なからずあった１年であった。

こうした中、利用者に少しでも楽しんでもらえるよう、施設内に限定した「やまゆり祭り」を開催するなど職員の創意工夫により各種行事を実施した。

新型コロナのまん延に伴い、利用者及び職員は３回目のワクチン接種を済ませ、特に大きな副反応が出た者は無かったものの、当施設でも職員が新型コロナに感染したほか、グループホーム利用者が感染するなど緊張の一年であった。しかし、幸いにも利用者や職員の日頃の衛生管理に対する取組みにより、クラスターの発生等大事に至ることもなく、引続き感染等防止策を怠ることなく積み重ねていく。

今年度も新型コロナに振り回されたが、法人が展開する第１種社会福祉事業及び第２種社会福祉事業の基本となる利用者本位の利用者に喜ばれるサービス提供については、計画に基づき概ね順調に実施できた。しかし、本年度の目玉事業であった、日中活動棟の整備に向けた用地造成工事等に着手できなかったなど一部の事業計画に遅れが生じる結果となった。

経営組織

令和３年度は、理事・監事及び評議員の同時改選期であった。特に、評議員については、改正社会福祉法に基づく初めての改選であった。また、法に基づく評議員選任・解任委員会も４年ぶりに開催されるなど、法人運営にあたる重要な人事案件が審議・決定された年度であった。人事案件により、評議員は２名が交代となり、理事会では１名が交代となったほか、新理事長の選出など、施設運営を担う組織において新たな構成員による業務が始動するなど、それぞれの機関が担うべき役割を責任もって遂行することができた年度であった。

また、コロナ禍においても理事会は、今年度２４件の議案を審議・承認し、評議員会では７件を審議・承認した。

安定した法人経営

社会福祉法人には、より透明・公正で安定した運営が求められているほか、サービスを提供する職員には質の向上が求められている。

法人定款で謳う第１種及び第２種社会福祉事業として、利用者に対するサービスは順調に事業展開している。今年度は、福祉で働く職員の処遇改善策として、処遇改善臨時特例交付金制度の創設、更には、職員の増員や定期昇給などに伴い人件費が増額となった反面、特定障害者特別給付費が減額となっている。

更に、今年度も新型コロナ禍による行事の縮小や中止等の影響が出た。特に、世界的なコロナ禍によりグローバル化した経済の中、原油価格などの高騰や食材費などの値上げ等により、給食費等についてまでも影響が出だした。

一方、社会福祉充実計画で謳っている日中活動棟の建設整備に向けた事業費は、八王子市の開発許可の遅れにより建設事業に着手ができなかったことにより、建設事業費が翌年度に繰延となり、支出が抑えされたことで積立金の取り崩しを行わなかった。

その結果、今年度は、日中活動棟の用地造成工事関連が繰り延べとなったものの、職員の定期昇給、人員増により人件費が上昇したこと等により 1,633 万円の支出超過となり、次期繰越活動増減差額は７億 9,519 万円と前年度に比べ減額となった。次年度は、日中活動棟用地造成工事及び建物の建設費用などを計画しているため、積立金の取り崩しを見込み、４年度は更にコストを意識した堅実な事業運営等に務め、安定した財政基盤の確保に努める必要がある。

決算の状況　（単位：円）

	３年度決算額	２年度決算額	増減額
経常収益(1)	676,661,345	675,705,142	956,203
経常費用(2)	692,991,831	665,415,045	27,576,786
特別収益／繰越活動増(3)	0	0	0
特別費用／繰越活動減(4)	6	23,702	△23,696
収支差額 (5)=(1)-(2)+(3)-(4)	△16,330,492	10,266,395	△26,596,887
前期繰越活動増減差額 (6)	811,520,254	801,253,859	10,266,395
次期繰越活動増減差額 (7)=(5)+(6)	795,189,762	811,520,254	△16,330,492

利用者本位の生活支援

法人の経営理念と基本方針に基づき、利用者の尊厳と利用者本位のサービスを提供し、信頼される施設運営を心がけてきた。

今年度も、新型コロナウイルス感染症まん延により、計画している行事は中止

又は縮小となったが、買い物を楽しみにしている利用者に好評の通称「美山商店」は継続しているほか、規模を縮小した「やまゆり祭り」では、盆踊り、みこしのほか模擬店などで楽しみ、利用者の笑顔が絶えない行事であった。

利用者支援の基本となる次年度の個別支援計画の作成にあたっては、今年度は、利用者、ご家族との三者面談はコロナ禍のため、年度を超えて利用者主体の支援計画の作成となった。

入所者の状況(各年度末人数)

区　分	3年度	2年度	元年度
男　性	37	38	38
女　性	38	39	38
合　計	75	77	76

健康管理

利用者の健康維持の一環として、日々の健康チェックや毎月医師の訪問を受け、利用者の健康管理に努めているほか、年２回の健康診断やインフルエンザの予防接種、新型コロナワクチン接種などにより、利用者の健康維持・管理に努めてきた。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、職員はもとより利用者への手洗い、消毒等の一層の徹底を図ったほか、利用者のご自宅等への一時帰宅やご家族との面会についても、ご家族等皆さまのご理解・ご協力のもと長期間にわたり制限をした。このような取組の結果、今年度もインフルエンザは入所施設利用者への感染はなかったが、引続き感染者が発生しないよう注意喚起を徹底して講じていく

透明性の向上

第三者評価を１６年連続して受審し、透明性の維持、向上を積極的に図ったほか、今年度は、閉鎖的と言われがちなグループホームにおいても、ご家族等の安心と信頼を高めるために第三者評価事業を実施した。

また、法人情報を発信するツールの中心となるホームページのリニューアルにより、今年度から閲覧しやすい環境を整え、法で定めている定款や財務諸表等の公表はもとより、他の法人ではあまり見かけない規則や要綱など法人運営等に関する情報提供を積極的に行った。このほか、行事等の開催状況を、コロナ禍でもご家族の方などに様子が分かるようホームページで発信したほか、「やまゆり通信」の発行などにより情報提供に努めてきた。

更に、公正で開かれた施設として、職員に対し虐待防止に向けた意識付けを徹

底するため毎月１回虐待防止委員会を開催し、全職員へのセルフチェックや苦情対応状況の取り組みを定期的に検証するとともに、虐待等の事案がない場合でも弁護士等で構成する第三者委員会を開催し、虐待や苦情対応等の取組状況を報告・説明するなど、透明性の確保に努めてきた。

また、職員への対応として、職員が感じている疑問等の解消や業務改善に向けた意見等を幅広く吸収するため、理事長への「お便り箱」を設置し、無記名による投書については、内容や投書者の意向に応じ、一般掲示による開示など臨機に対応を行い、透明性の向上に努めた。

施設の保全

施設整備後の経年に伴い「施設保全計画」に基づき施設の延命に取り組んでおり、利用者の居室などの点検を定期的に行っている。今年度は、特に厨房設備の経年劣化に伴い機能が低下した、冷蔵・保温食器棚の更新工事や流しの更新工事・排水パイプの洗浄等を行い衛生環境の向上に努めたほか、１階の来客・職員用の女性トイレの改修工事を実施した。また、やまゆりホールの天井取付、照明交換工事を行い、冷・暖房の効率を高め、降雨による防音対策を強化した。

このほか、男性・女性棟共に損傷がある壁等の修繕のほか、各居室の換気扇の掃除を業者に委託して住環境の向上に努めた。

職員の確保と質の向上

福祉施設の共通課題である職員の確保と離職防止に向けた取組みを継続している。今年度は、幸いにも常用職員である支援員や看護師の確保により、安定したサービス提供ができたが、職員の労働環境が改善できるようハローワークへの職員募集の継続申請のほか、教育実習生への積極的な声掛けをはじめ、各大学等へも就職依頼を働きかけた。今年度は、コロナ禍で就職説明会が中止となったことから、新聞折り込みとインターネットの求人サイトを活用しての募集を継続した。

このほか、職員の質の向上を図るため、リモート研修への参加のほか、施設独自の虐待防止研修やケース会を開催するなど質の高いサービスの提供に努めた。

また、自己研鑽と介護福祉士などの公的資格取得に向け支援する資格取得助成制度も継続実施した。

新規常用職員採用数

年　度	３　年　度	２　年　度	元　年　度
人　数	３名	６名	４名

※２年度は、令和３年４月採用５名、５月採用１名（新卒者を含む。）

人事考課の活用

職員の業務遂行結果（プロセスを含む）を評価し、その業務成績や能力を公平かつ適正に判断し、経営効率の向上を図るための人事考課は職員に定着してきている。また、やまゆりプランに謳っている人事考課と連動した上位職位への昇任試験を実施し、今年度は係長１名、主任１名、副主任３名が合格となった。

職位の分布状況（新年度の体制）

区　分	男	女	合　計
課　長	1	1	2
課長補佐	1	1	2
係　長	2	2	4
主　任	2	1	3
副主任	3	4	7

給食業務委託の継続と検証

給食業務委託業者を変更して２年目となり、委託先である業者と定期的に意見交換を実施しており、業者との連携、意思疎通に努めている。

今年度は、諸物価の高騰により受託事業の運営が厳しいとのことで、年度途中に行事食である毎月の誕生会食の単価アップを行い、利用者が楽しみにしている誕生会食の質の維持に努めた。

意見交換の回数　　４か月に１回開催

資金運用の変更

運用中の債券１件にコールがあった。しかし、事業費へ支出が予定されていることから、償還された金額を原資としての長期に及ぶ新たな投資は避け、安全確実な定期預金による資金運用を行った。

資金運用状況

年　　度	運用資産の状況	運用利息
３年度	・債券１億円×２件 ・コール１件 ５千万円を半年定期へ ・１億円の定期預金の更新	３，１５０千円
２年度	・債券１億円×２件 ・コール１件 １億円を半年定期へ ・債券５千万円の買い替え×１件	６，５６０千円

社会福祉充実計画

平成29年度からの５か年にわたる社会福祉充実計画に基づく「日中活動棟」の整備に向け努力しているが、計画の遅延から今年度は充実計画の計画変更承認申請を行った。

充実計画で整備を予定している日中活動棟建設予定地が市街化調整区域であることから、八王子市開発審査会の承認を得るための審査に時間を要し、更に、審査会後の事務処理に時間を要し、開発許可待ちの状況のため、表立っての事業の進展が見られなかった。

しかし、開発許可申請に当たっては、造成工事等の具体的な設計が必要なことから、造成業者の入札を行うなど、造成工事請負業者の選定を行った。

地域との連携

地域における公的な取組を実現する組織として設置・参画した美山地域福祉連携会議は、新型コロナ禍のため開催されなかったが、地域貢献事業として、連携会議で取り組んでいる単身高齢者等への配食事業は継続実施し、今年度配食を希望する方が１世帯増え２世帯となった。

令和３年度　主な事業成果

１．法人経営の原則

法人定款第３条

この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

上記定款第３条に規定されている原則に基づき、日常の法人業務運営及び八王子美山学園の業務運営の円滑かつ適正な執行を図った。

[事業内容]

（１）第一種社会福祉事業　施設入所支援事業（八王子美山学園）

（２）第二種社会福祉事業　障害福祉サービス事業（生活介護）

（３）第二種社会福祉事業　障害福祉サービス事業（短期入所　八王子美山学園）

（４）第二種社会福祉事業　障害福祉サービス事業（共同生活援助・グループホーム　美山寮、山入寮）

２．経営理念と基本方針

【理念】

私たちは、利用者ひとり一人の個性と人格を尊重し、利用者本位のサービスを提供するとともに、家族や地域との連携に努め、親しまれ信頼される施設をめざします。

【基本方針（目標）】

私たちは、常に専門的役割と使命を自覚し、利用者の自立と自己実現のために寄り添い、必要な支援を行います。

１．利用者の尊厳を重んじた支援

２．ひとり一人にあった個別的な支援

３．自分で選び、自分で決める利用者主体の支援

４．社会の一員として地域の中で暮らすための支援

3．理事会・評議員会等

（1）法人の役員、評議員等

（令和４年３月31日現在）

役職名	定数	氏名
理事	７名	荒井 冨雄、尾﨑 正幸、小林 昭代、白柳 和義、陣内 由晴、谷口 健吉、八木岡 英彦
監事	２名	小林 清、髙岡 誠司
評議員	８名	井上 寛、内田 佳子、大山 久人、加藤 敏夫、佐野 貞大、清水 朋子、西野 榮男、堀畑 美恵
評議員選任・解任委員会委員	５名	大熊 誠、小林 清、田倉 聖一、塚本 直克、米山 節香
第三者委員	２名	内田 佳子、小林 清

五十音順、敬称略

（2）理事会・評議員会の開催

改正社会福祉法に基づき、理事会は業務執行の意思決定機関として、評議員会は法人運営の重要事項を審議する議決機関として、下表のとおり会議を招集し、適正に事案を処理した。

会議の開催状況

	令和３年度	令和２年度	令和元年度
理事会	６回	５回	６回
評議員会	２回	２回	２回

※令和２年度の会議開催回数のうち、１回は書面による決議(両会議とも)

4．主な施策の成果

（1）新たな社会福祉法人制度への対応

ア 経営組織のガバナンスの強化

公益性を担保できる経営組織として、理事会を業務執行に関する意思決定機関として、評議員会を法人運営の基本ルールの決定・事後的な監督を行う議決機関とし、監事を法人の業務監督及び会計監査を行うなど、それぞれの機関が牽制して体制の強化を図った。

なお、今年度は、改正社会福祉法施行後初めてとなる評議員の改選があり、更に理事及び監事の改選期となった。評議員及び理事は各構成員の一部に交代があったほか、理事会では新たに理事長が選任されるなど、各会におい

て新たな体制のもとで経営組織による業務が始動した。

《理事会》

・法人業務の意思決定機関である理事会は、理事７名により構成し、毎回監事の同席により運営した。

・本年度は、理事改選に当たり、理事１名が交代し、６名が留任となった。また、新たに新理事長を選出した。

・本年度は、議案２４件を審議し、議決・承認するとともに、１件の協議事項を審議した。また、社会福祉法及び当法人の定款に基づく理事長の職務執行状況の報告を年２回行ったほか、毎回の会議において理事長の専決事項をはじめ計２７件の法人の運営状況等の報告があった。

・本年度は、本法人役員の業績が認められ、全社協会長表彰を監事が１名受賞し、更に、東社協会長表彰を理事１名が受賞した。

《評議員会》

・本年度は、改正社会福祉法施行後初めての評議員の改選となり、２名が交代し、６名が留任となった。

・法人の重要事項を決定する議決機関である評議員会は、評議員８名により構成し、今年度２回会議を開催した。

・本年度は、令和２年度計算書類等７件の議案を審議し・議決により７件を承認した。また、令和２年度事業活動報告、資金運用状況などをはじめ計９件の報告があった。

《評議員選任・解任委員会》

・今年度の定時評議員の終結をもって評議員の４年間の任期が満了となったため、次期任期となる評議員の選任を行うため会議を１回開催した。

・本年度の定時評議員会の終結をもって、現選任・解任委員の任期が満了となったことから、新たな４年間を任期とする委員が改選され、委員５名全員が留任となった。

イ　事業運営の透明性の向上

財務諸表、現況報告書、役員等の報酬基準等について社会福祉法に基づき公表を行うとともに、法人事務所の窓口に決算書類、定款、前年度の理事会・評議員会の運営状況等の書類を備え置き、閲覧請求に対応できるようにするなど法人運営の透明性の向上を図った。

また、従前より行事等の写真を増やすなど施設の柔らかさや楽しさを強調した施設の新たな顔であるホームページの運用を開始した。更に、ホーム

ページでは、開示例が少ない法人の規程や要綱等を掲載し、誰もが閲覧可能となるよう積極的に情報提供を行うなど、透明で開かれた法人運営の提供に努めたほか、職員からの意見・疑問等を幅広く吸収するため、理事長への「お便り箱」を設置し、無記名による投書については、内容や投書者の意向に応じ、一般掲示による開示など臨機に対応を行い、透明性の向上に努めた。

ウ 社会福祉充実計画の推進

平成２９年度に策定した５か年にわたる社会福祉充実計画に伴う日中活動棟（旧呼称：高齢者棟）の整備に向け、本年度は市街化調整区域の開発許可申請を行った。開発審査会は令和４年２月に開催されたものの、その後の八王子市との調整に時間を要している。

このため、2021 年度に予定してした敷地造成工事は、2022 年度へ繰り延べ、かつ、出水期（6/１～10/31）は工事を避けることとされているため、令和４年 11 月以降の着工とせざるを得ない状況となった。

そこで、計画期間を１年延長し、建築工事については、敷地造成工事の完了を待って、2022 年度と 2023 年度の２か年で実施することとする。

〔計画の推移〕　　2021 年度末現在

実施計画	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
実施内容	東京都・八王子市との計画協議	廃河川敷払下げ協議	廃河川敷払下げ協議 造成設計	廃河川敷取得	八王子市への開発許可申請	敷地造成工事 建築概略設計 建築工事	建築工事 家具及び調度品購入

＊造成設計は 2019～2021 年度で契約済み

エ 地域における公益的な取組について

社会福祉法人の責務として社会福祉法に規定されている「地域における公益的な取組」の一環として、地元美山町会及び美山地域内の社会福祉法人等で構成する「美山地域福祉連携会議」に参画しているが、今年度は、新型

コロナウイルス感染症まん延防止のため会議は開催されず、地域高齢者を対象とした健康体操教室は非常事態宣言等により１回の開催のみであった。また、地域の一人暮らし高齢者等で配食を希望する方へ週１回提供している夕食のお弁当の配食は年間を通じて実施でき、今年度１世帯増え２世帯となった。

公益的な取組は、サービスを提供できる職員の体制等課題も多く、また、美山町にある他の社会福祉法人との連携が必要であることから、地域連携の更なる取組みや具体的な手法について、今後も引き続き地域に密着し開かれた施設となるよう努める。

（２）法人としての理念・基本方針、諸規程の遵守

法人の理念・基本方針については、職員への周知・浸透が課題であったが、毎朝実施している業務引継会議（朝礼）での音読を継続実施し、更に、理事長訓示や職員研修等において周知を図っている。このため、今年度の第三者評価における職員への周知度は概ね達成できていた。しかし、内容の理解が不十分との回答者も約１割いることから、理解が深められえるよう機会あるごとに説明を継続していく。

規程・要綱等の策定や改正の際には、タイムレコーダーに近い職員の目につきやすい掲示板に変更点の掲示を行っているが、より浸透するようケース会議等の際にも周知・徹底に努める。

（３）利用者支援

虐待及び身体拘束の防止などの啓発等を継続し徹底を図った。特に、虐待防止に関しては２か月に１度全職員に対し虐待防止セルフチェックを行い、虐待防止に対する意識付けと啓発を行った。また、虐待防止に努めるよう研修等を実施した。

新型コロナウイルス感染症まん延により、今年度も旅行等行事の中止や変更を余儀なくされ、やまゆり祭りなど行事の縮小・変更等があったが、美山感謝祭の開催など職員の創意工夫による催しを企画し、新たな楽しみを利用者に味わってもらうなどした。

また、コロナ禍にあって一時帰宅や家族等との面談を制約するなど、多くの方に迷惑をかけたが、ご家族等の理解や協力により今年度も円滑に制約を続けることができた。

サービス提供の基本となる、個別支援計画作成にあたっては、２年連続して郵便等で作成することは避け、４年度の計画作成にあっては、年度をまた

ぐ結果となったが、利用者、ご家族、施設の三者による、利用者主体となる利用者の意向に沿った支援計画作成にこぎつけることが可能となった。

〈利用者の障害区分（各年度３月31日の状況)〉　（生活介護事業）

	区分６		区分５		区分４		区分３	
	男	女	男	女	男	女	男	女
３年度	28人	26人	12人	８人	３人	12人	０人	１人
２年度	28人	27人	13人	８人	３人	12人	０人	１人
元年度	28人	25人	13人	８人	２人	13人	１人	１人
３０年度	28人	25人	12人	８人	５人	12人	１人	２人

〈利用者の年齢（各年度３月31日の状況)〉　（生活介護事業）

	令和３年度		令和２年度		令和元年度	
	男	女	男	女	男	女
１０代	０人	０人	０人	０人	１人	０人
２０代	３人	２人	３人	２人	２人	２人
３０代	５人	８人	５人	７人	５人	７人
４０代	１９人	１２人	２１人	１４人	２２人	１４人
５０代	１２人	１１人	１０人	１０人	９人	１０人
６０代	１人	８人	１人	１０人	１人	９人
７０代	２人	６人	４人	６人	４人	６人
８０代	１人	—	—	—	—	—
合計	４３人	４７人	４４人	４９人	４４人	４８人

〈利用者の状況〉

	施設入所者 延利用日数	生活介護事業 延利用日数	短期入所事業 延利用日数	共同生活援助 延利用日数
３年度	27,070日	22,966日	318日	5,813日
２年度	27,376日	23,234日	95日	5,758日
元年度	27,464日	23,345日	342日	5,835日
３０年度	27,926日	23,581日	331日	5,809日

（４）健康管理

毎月１回嘱託医の往診を受け利用者の健康管理を行っているほか、必要な

方には毎週訪問歯科診療による治療を継続して行っている。また、年２回健康診断を実施し、利用者の健康管理や保健指導を行っている。

生活面では、利用者の検温を毎日実施しているほか、食事の摂取量のチェック、排便等のチェックを行い、利用者の体調観察を行い、必要に応じて看護師による健康管理を行っている。

新型コロナウイルス感染防止に向け、利用者及び職員の３回のワクチン接種を受けた。また、コロナ禍のため、外泊の中止、面会の制約等を行い、利用者、ご家族の協力のもとに徹底した感染防止対応を行った。

職員には出勤直後の手洗い、アルコール消毒のほか１日３回の検温を実施して感染防止対応の徹底を図ったほか、外部からの来園者に対しマスクの着用、検温、手指の消毒を徹底した。しかし、こうした中でも職員の新型コロナの感染やグループホームでの利用者への感染があったが、幸いにも共に大事に至らなかった。

なお、手洗い等衛生管理の徹底により、今年度もインフルエンザ患者の発生はなかった。

（５）生産活動の整備強化

リサイクル事業を継続して実施したほか、椎茸ときくらげの栽培を行い、ふっくら亭で販売した。また、ふっくら亭では、地域貢献の一環として、地元の方に浸透している地元野菜の販売を継続した。

なお、今年度も地域行事の中止等により、地域に出張してのパン等の販売がなく、ふっくら亭の名称を浸透させる機会がなかった。

（６）給食の提供

給食業務委託先が変更となって２年目となった。受託者は、施設の行事等に積極的に協力し、やまゆり祭りでは露店を開設するなど協力的であった。

給食内容は、給食の献立にあった温・冷に応じた給食が提供できており、行事食も工夫がされるなど楽しい、おいしい給食を利用者等に提供してきた。

また、施設の管理栄養士との連携も取れ、定期的に意見交換を行っており、今年度は４か月に１度の意見交換となっている。

なお、コロナ禍での物流の停滞や天候不順により野菜等の高騰により、食材を落とさす給食の提供が厳しいとの給食業者からの要望に応え、誕生会食費用の単価アップを年度途中に実施した。

（７）施設の改修、設備の改善

今年度は施設保全計画の一環として、やまゆりホールの天井等の備え着け工事を実施したが、他に予定していた未舗装となっていたリサイクル作業場前の駐車場の舗装工事の先送りなど大規模な工事、修繕等はなかった。しかし、施設の維持や快適な住環境等の確保のための改修、修繕工事等を実施した。

ア　やまゆりホール天井等設置工事

やまゆりホールは、これまで天井等がないまま活用してきたが、雨音がホール内に反響するなど会議の際に支障が出ていた。また、屋根裏に断熱材を使用しているものの、夏等において冷房の効き具合が悪いなど効率が良くないなどの建物の短所が目立っていた。

そこで、防音効果を高めると共に冷暖房の効率とコスト縮減を図るため天井を設置した。また、天井の設置に併せて照明設備を水銀灯から節電効果の高いLED照明器具へと交換を行った。

なお、天井とホールの屋根の間隔が狭いことから、天井内の結露等の防止のため、強制換気装置を設置し建物の保温・保全効果を高める工事を行った。

イ　厨房カウンター保温・冷蔵庫等の交換及び設置工事

厨房カウンターに設置してある保温・冷蔵庫は、給食の副菜を並べ給食時に支援員等が都度副菜を取り出して利用者に提供している。この保温・冷蔵庫は、暖かいものは暖かく、冷たいものは冷たい副菜として提供するものであり、暖かいものについては、副菜に適度の湿度を与え副菜が乾かないようになっている。しかし、設備の老朽化に伴い、温・冷の効果が薄れ、適温・適湿な状態で副菜が提供されないため、利用者が食事を摂る時間により鮮度の差が生じていた。

そこで、カウンター括り付けの保温・冷蔵庫の入れ替えを行うと共にカウンターの工事を行い、副菜に適したて温度を提供するようにし、併せて美味しい給食の提供に努めることが出来た。

また、給食の食器等を洗うシンクが経年により水漏れ等がおき、食器洗浄の汚水がシンクから漏れ出したため、シンクの交換等を行い、厨房の衛生状態の維持に努めた。

ウ　棟外脱衣場等修繕

棟外の脱衣場は、利用者が粗相をした際に服の交換や体の洗浄に使用しているほか、実習生の浴室として使用している。この脱衣場等の床等が湿気により傷み、壁紙の剥離等も生じてきた。

そこで、環境を整備するとともに、実習生の生活環境を改善し、好感の持てる施設となるよう改修を行った。

エ　リサイクル作業場土留め工事、屋根修繕及び照明交換工事

リサイクル作業場の南側斜面から少しずつ流れ出る堆積物により、土留め板が変形してきたため、堆積土砂等に絶えられるよう簡易土留め補強工事を実施し、土砂等の堆積に対する強度策を講じた。

リサイクル作業場の屋根が経年により豪雨の際は雨漏りを起こし、作業に支障を生じることが幾度ともなく発生している。また、照明が暗くなり、冬場の夕方の作業に不安があることから、雨漏りの修繕を行うと共に照明器具交換工事を実施し環境改善に努めた。

オ　職員更衣室の改修

男性職員の更衣室は、以前洗濯等で使用しており、排水管から異臭が漂うようになったことから、排水管を塞ぎ異臭の発生源を断つと共に、洗濯機を置いた場所の床等の改修等を行い、更衣室の改善を図った。

カ　女性棟、男性棟居室等の修繕

利用者が使用する居室においては、ドアの損傷、ロッカーや照明器具が壊れることなどが多い。故意に壊したりした場合は利用者負担になるが、それ以外は、施設負担で修繕しており、早期に対応を求められることから、随時修繕を行い利用者の住環境の維持改善に努めた。

女性棟では、利用者の高齢化に伴い風呂場に手摺を設置するなど環境改善に努めた。

また、本館内の空調は集中管理をしているが、経年により利用者居室等で空調機の故障が発生しており、都度修繕作業を実施するなど、住環境の維持に努めた。

キ　来客・職員用女性トイレの改修

本館来客及び職員用女性トイレの水回りが経年により傷み、壁にしみ等が生じてきたことから洗面台等の改修を行うと共に、傷んできたトイレドア等の交換工事を行った。

ク　パン工房の環境維持

パン工房は、生活支援の場として利用者が活躍しているが、経年によるパン製造に要するミキサー等の故障が多い。このため、各種機器の修繕を行った。また、エアコン修理を行うなど、パン工房内における環境の維持に努めた。

ケ　備品・消耗品の購入

男・女各棟では、ベッドの定期的な入れ替えを行っており、今年度も利用者の居住環境の向上に向け各４台を交換した。

女性棟では、棟内配膳用のワゴンを購入し、食堂に来られない方へ給食を

提供する配膳の向上に努めた。また、男性棟では、入浴介助用いすを購入し、運動機能が低下した利用者に対応できるよう環境を整えた。

このほか、長年使用して傷んだやまゆりホールの長机や椅子を購入し、ホールでの行事や研修環境の維持に努めた。

更に、防災対策として、トランシーバーを購入し、不測の事態に備え設備の充実を図った。

コ　新型コロナウイルス感染症対策として、食堂、やまゆりホール及び多目的室に大型の空気清浄器を導入した。また、各グループホームに酸素濃度計を購入したほか、消毒液等感染防止用品の購入を行った。

サ　その他

事務の効率を図るため支援記録用のパソコンを増設したほか、本部や支援課等の古くなったパソコンの入れ替えを行い、執務の環境改善に努めた。

（8）人事管理の充実

ア 人事考課の適正化

業務成績や業務への意欲を公正かつ適正に評価する人事考課について、自己評価シート等を活用した自己評価と上司の査定を基に人事考課評定を公正に実施し、その結果を職員にフィードバックした。自己評価等は職員により採点が異なることから、上司から公平・公正に評価を行うなど、制度が定着してきたが、職員により分かり易く、職員の理解を得られる制度となるように改善に努めた。

イ 人事考課と連動した昇任制度

やる気ある職員の育成と業務に対する意欲高揚のため、人事考課と連動したキャリアアップの手法として立ち上げた昇任試験制度は３年目となり、職員に浸透しつつある。今年度は、チャレンジ意欲のある職員が昇任試験に臨み、係長職１名、主任１名、副主任３名が合格となった。

昇任試験合格者数

	３年度	２年度	元年度
係　長	１名		
主　任	１名		
副主任	３名	１名	２名

※昇任時期は翌年度から

ウ　質の高いサービスが提供できるよう、介護福祉士等の資格取得を目指す職員を支援する目的で、やる気ある職員育成の一環として、法人独自の資格取得助成制度を設けており、チャレンジする職員の経済的な負担の軽減

を図り、人材の育成に努めた。

職員の有資格者数（各年度当初）

	介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士
３年度	４３名	３名	１名
２年度	４０名	３名	１名
元年度	４０名	２名	１名
３０年度	３５名	３名	１名

エ 職員の勤務条件の改善を次のとおり行った。

①職員処遇改善加算の実施
②特定処遇改善加算の実施
③職員処遇改善臨時特例交付金加算の実施
④永年勤続表彰の実施
⑤勤務評定の高い職員へ一時金支給時に勤勉手当の加算

10 年勤続被表彰職員

	３年度	２年度	元年度	平成３０年度
常用職員	０名	１名	１名	１名
有期雇用職員	１名	１名	３名	１名

オ　支援員等の確保を図るため、ハローワークに通年で求人募集を申請したほか、東社協福祉人材センター・人材バンクへの登録などを実施したが、今年度は新型コロナウイルスの影響で福祉職場合同面接会が中止となったため、今年度も新聞折り込みチラシの活用や求人サイトへの登録を行った。また、実習生に対し積極的に職場 PR を行ったほか、就職準備金制度、車通勤者への購入資金の助成や新たに創設した個人型拠出年金への法人からの支援など福利厚生の充実等の PR を行った。

（９）財務管理

ア　施設における会計等が適正かつ円滑に運用されているかを、毎月顧問税理士により確認を願い、専門家による指導のもとで会計処理及び予算執行を行った。

　今年度は、八王子市の監査はなかったが、市の監査に何時でも対応できるよう着実な事務処理を執行した。

イ　資金運用については、資金運用規程に則り、安全確実かつ効率的な運用を行い、運用先の変更等の際には理事会に報告を行うなど、資金の有効な運用を行った。

　今年度は、これまで高い運用利息を得ていた債券５千万円にコールがあった。償還された金額について、日中活動棟の整備を計画しているため、

その整備費用に多額な費用を要することから、新たな長・短期投資を行わず、いつでも引き出しが可能な半年定期で運用することとした。

また、基金の活用について、証券会社から運用の提示があったが、現在運用中の社債等に関して、現状より運用効率が高く、かつ、安全で確実な商品があれば検討する方針としている。

〈資金運用状況〉

	令和３年度	令和２年度	令和元年度	平成30年度
外国債券等	２億円	２億円	３億円	３億円
社　　債		５千万円	５千万円	５千万円
定期預金	１．５億円	１億円		

（10）福祉サービス第三者評価の継続受審

利用者の満足度や職員の意識調査のほか、経営状況等を客観的に評価する第三者評価を生活介護・施設入所支援においては１６年連続で受審したほか、今年度は閉鎖的と一般的に言われているグループホームの第三者評価を受審し、サービスの質の向上と事業の透明性の確保に取り組んだ。

（11）非常時対策

避難訓練に合わせ災害備蓄品を活用した給食体験を実施したほか、断水・停電に備えた濾水機や発電機の操作訓練等を今年度も継続して実施し、参加した職員のほとんどが機器の操作方法を体得した。また、新たにトランシーバーを購入し、不測事態に活用できるよう体制を整備したほか、備蓄品の入れ替えを兼ね、備蓄食料品を活用した給食訓練を実施し、コンロの活用や食品の開栓方法等の確認を行った。

また、ヘッドランプ等の電池の入れ替えを行い、不測事態に備えての確認、点検を行った。

今年度は、土砂災害マニュアルの見直しを行い、今年度改定された避難レベルに合わせた避難の判断基準の改正を行ったほか、八王子市から提出が求められた「洪水時及び土砂災害時の避難確保計画」を市に提出した。

（12）地域との連携

新型コロナウイルスまん延のため地域の行事が今年度も中止となったほか、公益的な取組を検討、実施する美山地域福祉連携会議も開催されなかった。

しかし、公益事業の一環として、美山地域の一人暮らし等高齢者を支援するための夕食配食事業は継続して提供し、定着しつつあり、今年度は利用者が１名増え２名の方に夕食を提供している。利用者概ね実施できた。

また、高齢者健康体操教室もコロナ禍のために中止となり、１回実施するに留まった。

5．職員数の状況

〈障害者支援施設〉（施設入所、生活介護、短期入所）　　（単位：人）

区　分	令和４年3月31日			令和３年3月31日			令和2年3月31日		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
正規職員	21	26	47	19	21	40	20	22	42
再雇用職員	1	0	1	1	0	1	0	1	1
有期契約職員	１４	26	40	14	31	４５	13	32	45
合　計	36	５２	88	34	52	86	33	55	88

〈共同生活援助事業〉　　（単位：人）

区　分	令和４年3月31日			令和３年3月31日			令和2年3月31日		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
正規職員	1	1	2	1	1	2	1	1	2
有期契約職員	3	１４	１７	3	１６	１９	3	１４	17
合　計	4	１５	１９	4	１７	２１	4	１５	19

※有期契約職員の内４名は障害者支援施設と兼務

6．虐待防止委員会の開催

利用者の人権を保護し、健全な支援を提供するために虐待防止対応規程に定める虐待防止委員会を毎月定例的に開催し、職員から提出があった虐待防止チェックシートの結果の分析など、虐待防止に向けての検証や防止に向けた周知啓発を行った。また、苦情受付や虐待発生の事案はなかったが、虐待発生時の迅速な改善策の協議・助言を行う機関として設置している、第三者委員会を開催し、虐待防止策の取組み状況等の報告や確認を行った。

なお、厚生労働省は、障害福祉施設・事業所の指定基準に令和４年４月から当法人では既に設置している虐待防止委員会の設置義務を明記した。

〈虐待防止委員会等の開催状況〉

	令和３年度	令和２年度	令和元年度	平成 30 年度
虐待防止委員会	１２回	１２回	１２回	１２回
第三者委員会	１回	１回	１回	１回

７．その他

日中活動棟整備について

（１）日中活動棟整備に向け、八王子市開発審査会資料の提出を求められ、資料作成に必要となる、日中活動棟用地造成設計図などの提出を行った。

なお、造成工事施工事業者の選定にあたり、指名競争入札対象業者６社を選定したが現説には５社が応募し、３社辞退により２社により入札を実施した。

その結果、入札が不調となったことから、最低価格を入札した１社特命随契となった。

（２）八王子市開発審査会が令和４年２月１７日に開催され、その後、八王子市から開発隣接地との境界確定の完了確認等の指示があり、八王子市長からの許可待ちの状況となっている。

令和３年度　事業実績

１．事業運営

事　業　種　別	事　業　内　容
第１種社会福祉事業	障害者支援施設の経営 八王子美山学園（定員８０名）
第２種社会福祉事業	障害福祉サービス事業の経営 八王子美山学園 生活介護（定員８０名） 八王子美山学園 短期入所（定員４名） 共同生活援助 八王子美山学園 美山寮（定員１０名） 八王子美山学園 山入寮（定員６名）

２．理事会・評議員会の開催

（1）　理事会の開催

第１回理事会 ６月２日（水）	第１号議案	令和２年度事業報告の承認について	承認
	第２号議案	令和２年度計算関係書類等の承認について	承認
	第３号議案	理事候補者の推薦について	承認
	第４号議案	監事候補者の推薦について	承認
	第５号議案	評議員選任・解任委員会委員の選任について	承認
	第６号議案	承認社会福祉充実計画の変更に係る承認申請について	承認
	第７号議案	評議員会招集事項の決定について	承認
	協議事項	第２回理事会の招集方法等について	

	報告事項	やまゆりプランの進行管理について 評議員候補者の推薦結果について 廃河川敷の用地取得について 新型コロナの職員感染について 事故報告について 理事長専決事項	
第2回理事会 6月23日（水）	第8号議案	理事長の互選について 理事長職務代理者の指名	白柳理事を選任決定
	第9号議案	法人本部長の任用について	承認
第3回理事会 9月8日（水）	報告事項	令和３年度上半期理事長の職務執行状況報告について 承認社会福祉充実計画変更申請の承認について 有期契約職員の時間給引き上げについて 職員宿舎管理規程に基づく宿舎使用料の軽減について 利払繰延期限前償還劣後債券のコール（９月）について 利用者に対する新型コロナワクチンの接種について 理事長専決事項	
第4回理事会 11月17日（水）	第10号議案	給与規程の一部改正について	承認
	第11号議案	有期契約職員就業規則の一部改正について	承認
	第12号議案	有期契約職員退職金給付規則の一部改正について	承認
	報告事項	全国社会福祉協議会会長表彰について 日中活動棟建設敷地造成その他工事について 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言終結後の対応について 事故報告について 理事長専決事項	
第5回理事会 1月19日（水）	第13号議案	八王子美山学園日中活動棟建設敷地造成その他工事請負契約の締結について	承認
	第14号議案	常用職員給与規程の一部改正について	承認
	第15号議案	有期契約職員就業規則の一部改正について	承認

	報告事項	新型コロナウイルス感染予防対策状況について 理事長専決事項	
第6回理事会 3月9日（水）	第１６号議案	令和３年度補正予算について	承認
	第１７号議案	令和４年度事業計画について	承認
	第１８号議案	令和４年度予算について	承認
	第１９号議案	常用職員給与規程の一部改正について	承認
	第２０号議案	有期契約職員就業規則の一部改正について	承認
	第２１号議案	経理規程の一部改正について	承認
	第２２号議案	令和４年度事業継続契約について	承認
	第２３号議案	令和４年度ＬＰガス供給継続契約について	承認
	第２４号議案	評議員会招集事項の決定について	承認
	報告事項	理事長の職務執行状況について 資金運用状況について 日中活動棟建設について 第三者評価の結果について 処遇改善臨時特例加算額の決定について 新型コロナウイルの感染について 理事長専決事項	

（2） 評議員会の開催

第1回評議員会 6月23日（水）	第1号議案	令和2年度計算書類及び財産目録の承認について	承認
	第2号議案	理事の選任について	承認
	第3号議案	監事の選任について	承認
	第4号議案	承認社会福祉充実計画の変更に係る承認申請について	承認
	報告事項	令和2年度事業報告について 評議員選任・解任任委員会の審議結果について 次期評議員選任・解任委員会委員について やまゆりプランの進行管理について 新型コロナの職員感染について	
第2回評議員会 3月23日（水）	第5号議案	令和3年度補正予算について	承認
	第6号議案	令和4年度事業計画について	承認
	第7号議案	令和4年度予算について	承認
	報告事項	資金運用状況について 第三者評価の結果について 日中活動棟について 新型コロナウイルの感染状況ついて	

3. 施設利用状況

（1）障害者支援施設八王子美山学園

区市町村別利用状況　　（単位　人）

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中央区	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
台東区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
墨田区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
江東区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
目黒区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
大田区	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50
世田谷区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
杉並区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
豊島区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
北区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
荒川区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
板橋区	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
練馬区	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	67
足立区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
葛飾区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
江戸川区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
八王子市	20	20	20	19	19	18	18	18	18	18	18	18	224
武蔵野市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
青梅市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
府中市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
昭島市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
町田市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
小平市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
国立市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
東大和市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
武蔵村山市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
稲城市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
あきる野市	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	31
西多摩郡瑞穂町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
さいたま市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合　　計	77	77	76	75	75	75	75	75	75	75	75	75	905

（2）障害程度区分別利用者状況（施設入所支援事業）　（単位　人）

区分	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分6	女性	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25	25
	男性	27	27	27	28	28	27	27	27	27	27	27	27
区分5	女性	8	8	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8
	男性	10	10	10	8	8	9	9	9	9	9	9	9
区分4	女性	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
区分3	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性		39	39	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
男性		38	38	38	37	37	37	37	37	37	37	37	37
合計		77	77	76	75	75	75	75	75	75	75	75	75

（3）障害程度区分別利用者状況（生活介護事業）　（単位　人）

区分	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分6	女性	27	27	27	27	27	26	26	26	26	26	26	26
	男性	28	28	28	29	29	28	28	28	28	28	28	28
区分5	女性	8	8	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8
	男性	13	13	13	11	11	12	12	12	12	12	12	12
区分4	女性	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
	男性	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
区分3	女性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女性		48	48	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47
男性		44	44	44	43	43	43	43	43	43	43	43	43
合計		92	92	91	90	90	90	90	90	90	90	90	90

（4）短期入所事業（美山学園）

区市町村別利用状況　　（単位　人）

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
渋谷区							6	8	24				38
練馬区		22	30	28	19			8		19			126
立川市												7	7
三鷹市					8								8
府中市						4	14						18
あきる野市				31	31								62
瑞穂町				13	25	21							59
合計	0	22	30	72	83	25	20	16	24	19	0	7	318

（5）共同生活援助事業

美山寮　　（単位　人）

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大田区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
練馬区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
八王子市	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
三鷹市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
昭島市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
東大和市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120

山入寮　　（単位　人）

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
文京区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
世田谷区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
板橋区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
八王子市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
福生市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72

4. 人員配置

(1)障害者支援施設八王子美山学園(施設入所支援事業・短期入所事業及び生活介護事業)　　(単位　人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	再雇用	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サビ管	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
生活支援員	常勤	37	38	38	38	38	39	38	38	38	38	38	38
	有期契約	41	41	42	40	40	41	40	40	39	38	38	39
看護師	常勤	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3
	有期契約	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
常勤合計		45	45	45	45	45	47	46	46	46	46	46	47
再雇用合計		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
有期契約合計		42	42	43	41	41	42	41	41	40	39	39	40
総合計		88	88	89	87	87	90	88	88	87	86	86	88

(2)障害者支援施設直接処遇職員常勤換算数　　(単位　人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活支援員	常勤	37	38	38	38	38	39	38	38	38	38	38	38
	有期契約	31.4	31.4	32.3	30.7	30.7	31.7	30.7	30.7	29.7	29.4	29.4	29.8
看護師	常勤	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3
	有期契約	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
常勤換算合計		71.0	71.0	71.9	70.3	70.3	73.3	71.3	71.3	70.3	70.0	70.0	71.4

(3)障害福祉サービス八王子美山学園（共同生活援助事業　美山寮・山入寮）　（単位　人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長	常勤	兼務											
事務	常勤	兼務											
サビ管	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
世話人・生活支援員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	有期契約	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17
看護師	常勤	兼務											
	有期契約	兼務											
栄養士	常勤	兼務											

5．支援業務

（1）個別支援計画の作成

令和２年度個別支援計画を元に策定委員会が原案を作成し、利用者の希望やご家族の意見を聞き、３年度個別支援計画を作成した。

・３年度支援計画の作成においては、新型コロナウイルス感染症予防の為、ご家族との意見交換については、書面等により行った。

・策定書類（フェイスシート、２年度個別支援の評価、３年度支援計画、アセスメントシート）

（2）日常生活支援

（単位　人）

介助種別	食事	排泄	入浴	着脱衣	整容	移動	生活環境整備	投薬	洗濯	水分補給
一部介助	11	34	18	12	12	13	10	0	5	9
全部介助	8	18	56	23	62	11	65	75	69	8
計	19	52	74	35	74	24	75	75	74	17

※ 整容とは「洗顔・髪梳き・髭剃り・歯磨き・爪切り・耳掃除・理美容等」、
生活環境整備とは「リネン交換・居室の整理整頓・室温管理等」を指す。

（3）日中活動支援　　（4.3.31 現在）

種　　別	活動内容	活動場所	参加利用者数（人）			備考
			男	女	計	
生活介護事業	あゆみ	やまゆりホール・園内	2	9	11	
	A運搬	やまゆりホール・園内	11	3	14	
	B運搬	園内	6	3	9	
	リサイクルA班	園内作業棟	2	7	9	
	受注作業	園内作業棟	2	0	2	
	リサイクルB班	園内作業棟	9	3	12	
	リサイクルC班	やまゆり作業場	0	9	9	
	軽運動	多目的室	4	7	11	
	洗濯・清掃	本館内	1	2	3	
	シュレッダー	中庭活動場	2	1	3	
	分別作業	リサイクル場	3	0	3	
	製パン	工房	1	2	3	
		店舗	0	1	1	
計			43	47	90	延べ人数
日中活動日帰り旅行	新型コロナウイルス感染症予防・緊急事態宣言のため中止					
日中活動一泊旅行	新型コロナウイルス感染症予防・緊急事態宣言のため中止					


受注作業


リサイクルA班


洗濯・清掃


シュレッダー班



B運搬


分別班

（4）余暇活動支援（外出・買物・行事・旅行・イベント等）　　（単位　人）

余暇活動の種類		時期・回数	参加利用者数
外食・買物		月4・5回程度	新型コロナウイルス感染症予防のため中止
散歩・買物（近隣商店）		毎週土曜・日曜日	希望者　月平均 160（緊急事態宣言中などは中止、代わりに美山商店を開設）
ふっくら亭喫茶		毎週土曜・日曜日	希望者　月平均 180（緊急事態宣言中などは中止）
DVD・ビデオ鑑賞		毎週土曜・日曜日	希望者　月平均 180
ドライブ（ドライブ先での散歩）		毎週土曜・日曜日	希望者　月平均 120
学園主催行事	お花見会	4月	88 名（学園内実施に変更）
	日帰り旅行	7月	新型コロナウイルス感染症予防のため中止
	日帰り旅行	8月	新型コロナウイルス感染症予防のため中止
	バーベキュー すいか割り	8月	89 名
	やまゆり祭り	9月	全利用者（規模を縮小して実施）
	一泊旅行	10月	新型コロナウイルス感染症予防のため中止
	一泊旅行	11月	新型コロナウイルス感染症予防のため中止
	みやま★かんしゃさい	11月	91 名
	クリスマス会	12月	全利用者（学園内実施に変更）
	忘年会	12月	全利用者
	新年会	1月	全利用者
福祉関係・地域行事・その他		新型コロナウイルス感染症予防・緊急事態宣言などのため中止	
イベント企画		新型コロナウイルス感染症予防・緊急事態宣言などのため中止	


お花見会


クリスマス会


やまゆり祭


新年会


美山感謝祭


初日の出


お正月


すいか割り

（5）共同生活余暇活動　　（単位　人）

余暇活動の種類		時期・回数	参加利用者数
外食・買物		新型コロナウイルス感染症予防のため 買物（日用品、嗜好品購入）は学園車両で月に 1～2 回実施 外食は控え、お弁当等のテイクアウト実施	
イベント企画	お花見	4月	全利用者（園内にて実施）
	花火	7月	全利用者
	その他の企画は新型コロナウイルス感染症予防・緊急事態宣言のため中止		


花火


ぶどうお取り寄せ


花見


テイクアウト（弁当）


テイクアウト（弁当）


買物

6．給食業務

（1）障害者支援施設

給食提供形態	○1日3食・毎日提供 【食事時間】朝食：07：30～09：30 昼食：11：30～13：30 夕食：17：30～19：30 ○食事の提供にあたっては、利用者の心身の状況及び嗜好を考慮し、上記の時間帯に食事の提供を行うとともに、利用者の年齢及び障害の特性に応じた、適切な栄養量及び内容の食事の提供を行うため、常勤の管理栄養士を配置し、必要な栄養管理を実施 令和4年3月末現在：ざく切り15人・軟らか食10人・ペースト食2人 糖尿食等4人 ○補助食は実費負担により提供 令和4年3月末現在：牛乳5人・ヨーグルト等8人・納豆5人・パン1人 野菜ジュース3人 ○ ミニバイキング　6月・10月 ○ 給食業務委託会社（(株) アーバン） ○ 業務委託会社との調整会議を実施し、給食サービスの向上を図った。
給　食　費	月額約43,000円利用者負担。補助食は実費負担


クリスマス


デザートバイキング


誕生会食


お正月（おせち）


バーベキュー


ピザバイキング

（2）共同生活援助事業

給食提供形態	○1日2食（朝・夕）毎日提供 ○土日の昼食　まごころ食材サービス ○タイヘイ株式会社のクッキングデポを導入した。
給　食　費	実費負担

7．健康管理業務

医療体制
健康管理

○嘱託医（恩方病院長）による毎月１回の精神科往診の実施
○ながやまクリニックによる毎月1回の往診
○下記近隣医療機関と連携した入院・通院
・入院　９人　延310日
・通院　360人　月平均30人
・往診月平均80人

診療科目	医療機関
精神科	恩方病院・ながやまクリニック
内科	恩方病院・城山病院・八王子北部病院・緒方内科
外科	高山外科眼科医院・八王子山王病院・右田病院 南多摩病院・多摩総合医療センター
脳神経外科	北原国際病院・東京天使病院
整形外科	八王子山王病院・八王子北部病院
皮膚科	恩方病院・ゆき皮膚科
眼科	恩方病院・高山外科眼科医院・東海大学八王子病院
歯科	もとえデンタル歯科（往診）・八王子メディカル歯科
耳鼻科	元八王子耳鼻科・三木耳鼻科
緊急時	救急車対応　恩方病院・八王子医療センター・右田病院・ 都立松沢病院・南多摩病院・多摩総合医療センター
婦人科	西島婦人科・東海大学八王子病院・青梅市立総合病院
泌尿器科	中野間クリニック・八王子医療センター

○ 新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウィルス等防止のため、業者による棟内・ロビー・食堂等の消毒清掃実施
○ 年２回の健康診断の実施（５月・10月）
○ 看護師・スタッフの連携による健康管理・指導
○ 定時薬・臨時薬の準備と保管及び服用薬管理
○ 管理栄養士による食事管理
○ 寝具類の乾燥
◎ 新型コロナウイルス感染者は山入寮利用者６名

8. 施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	・１階ロビー女性用トイレ改修工事 ・やまゆりホール天井改修工事 ・厨房機器（コールドストッカー・ホットストッカー）入替 ・リサイクル作業場前土留め工事
施設設備の保守点検委託業務	・エレベーター（リモート点検毎月、技術員点検４回、法定検査１回）美山寮含む ・防災設備（法定点検２回）美山寮含む　・ボイラー（保守点検１回） ・空調設備（法定点検４回）　・電気設備（法定点検６回） ・大型洗濯機、乾燥機（保守点検3回）　・パソコン管理業務委託 ・ガス発電機バルク（保守点検１回）　・建物設備定期検査（法定検査１回）
施設設備の管理業務	・棟内清掃（毎週月～金） ・害虫駆除（本館・厨房・作業棟一年2回、パン工房一毎月１回） ・廃棄物処理（毎週３回） ・感染症予防対策消毒清掃（年１回）

9. 安全対策

（1）防災訓練

実施日	訓練概要	備考（訓練内容）
４月19日	日中想定による火災避難訓練	日中の火災を想定し、グループホーム利用者も対象とする火災避難訓練、棟内に残る利用者を無くす事を目標に全職員で避難に当たる。トランシーバーを活用しての訓練。
５月11日	夜間想定による避難訓練	夜間を想定した火災に対する訓練で、職員４人で初動待機から避難誘導・点呼までの訓練
5月27日	防災教育・機器使用訓練（水消火器、本館消火栓、浄水装置、発電機等の操作法指導研修）	消防署から水消火器を借り、新人職員等未経験者を中心に初期消火訓練実施、また、防災設備会社の指導により、本館消火栓を実際に使用した放水訓練実施と併せ、浄水装置・発電機の操作法 等
６月　８日	日中想定による火災避難訓練	日中の火災を想定した避難訓練、トランシーバーを活用した訓練
７月12日	夜間想定による震災避難訓練	夜間を想定した震災に対する訓練で、１階から２階への垂直避難訓練を、職員４人で初動待機から避難誘導・点呼まで行う
８月　３日	日中想定による土砂災害避難訓練垂直避難訓練	日中を想定した土砂災害に対する避難訓練で、１階から２階への垂直避難訓練
９月　６日	日中想定による火災避難訓練 炊き出し訓練	避難訓練終了後、本部職員も参加しての非常食による炊き出し訓練を実施

９月１１日	毎年実施している美山町会の地域合同自主防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して実施	各施設は不参加
１０月　６日	日中想定による火災避難訓練	日中の火災を想定し、グループホーム利用者も対象とする火災避難訓練、棟内に残る利用者を無くす事を目標にトランシーバーを活用し、全職員で避難実施
１１月　９日	夜間想定による火災避難訓練	夜間を想定した火災避難訓練で、職員４人による初動から避難誘導・点呼までの訓練
１２月　８日	日中想定による火災訓練	日中の火災を想定し、グループホーム利用者も対象とする火災避難訓練、ベッド避難者０人を目標にトランシーバーを活用し、全職員で避難実施
１２月１２日	八王子市総合防災訓練	福祉避難所の協定締結をしている全施設及び学校を対象とした無線通信訓練参加
１月１２日	夜間想定による土砂災害の避難訓練	夜間を想定した土砂災害に対する避難訓練で、１階から２階への垂直避難訓練を実施、職員４人で点呼まで行う
２月　９日	日中想定による震災避難訓練	日中を想定した震災に対する訓練で、グループホーム利用者も対象とし、トランシーバーを活用し、初動待機から避難誘導・点呼の訓練を実施
２月１０日	美山町災害活動相互応援協定による防災訓練	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参集訓練はせず、オンライン形式によるリモート訓練
３月　７日	夜間想定による火災訓練	夜間を想定した火災避難訓練で、職員４人による初動から避難誘導・点呼までの訓練

◎ ５月の勉強会の一環として、水消火器使用による初期消火訓練、消防設備保守会社の指導による本館消火栓を　使用した放水訓練並びに自家発電機及び浄水装置の使い方の操作指導訓練を実施

◎ 毎年９月に実施している「美山町会の地域合同自主防災訓練」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 規模を縮小して実施、施設は参加せず

◎ 毎年１１月に実施している「災害活動相互応援協定による防災訓練」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 時期を変更し、２月にオンライン形式にて実施

◎ ２月の避難訓練については、雨天のため中止


防災教育・機器操作訓練


避難訓練


炊き出し訓練

（2）非常食の備蓄

１００食×７日分	朝　食	昼　食	夕　食
１・５日目	パン缶詰め・スープ フルーツミックス缶	白飯・和風ハンバーグ	山菜おこわ・肉じゃが
２・６日目	赤飯・さつまいもレモン煮	白飯・ホワイトシチュー	五目ご飯・焼き鳥缶
	きのこご飯・ さつまいもレモン煮	白飯・鶏と野菜のトマト煮	
３・７日目	わかめご飯・かぼちゃ煮	白飯・LLヒートレスカレー	ひじきご飯・おでん
			ひじきご飯・鶏の旨煮缶
４日目	白飯・とりそぼろ	白飯・LLヒートレス ブラウンシチュー	白飯・牛丼の素パック
※　やわらか食用：白がゆ（個別パック）・ふっくら梅がゆ・鶏そぼろ缶、すき焼きパック、トロミ剤			
◎ 非常用保存水　2リットルペットボトル×50C/S　＝　300本　（自家発電機・浄水装置整備あり）			

◎ やまゆりホール横の防災用品倉庫に、上記非常食のほか、炊き出し用卓上ガスコンロ１０個、ガスボンベ４０本、アルミ大鍋、バケツ、チャッカマン、手指消毒用アルコール・スプレーボトル、キッチン鋏、箸、スプーン類、紙コップ、発泡容器、ラップ・アルミ類、食事用トレー１００枚、キッチンペーパー、ゴミ袋類、処置手袋、寝袋、毛布８０枚、衣類・古着、タオル１００枚（圧縮して保管）、非常用トイレ５０個、オムツ、生理用品、懐中電灯、乾電池、灯油ストーブ、等常時完備。

（3）共同生活援助事業避難訓練

実施日	訓練内容	備　考
4月18日	美山寮　通常避難訓練	
5月23日	山入寮　土砂災害想定避難訓練	避難訓練後、デリバリーで食事する
6月19日	美山寮　通常避難訓練	
7月29日	山入寮　土砂災害想定避難訓練	
8月18日	美山寮　土砂災害想定避難訓練	
9月19日	山入寮　土砂災害想定避難訓練	
10月21日	美山寮　土砂災害想定避難訓練	
11月8日	山入寮　土砂災害想定避難訓練	
12月20日	美山療　土砂災害想定避難訓練	
2月11日	美山寮　土砂災害想定避難訓練	
3月18日	山入寮　土砂災害想定避難訓練	

１０．ボランティアの受入

日中活動 （マジックショー等）	新型コロナウイルス感染症予防・緊急事態宣言のため中止

１１．実習生・介護体験の受入

受入学校名		期間	人数
実習生	貞静学園短期大学	5月12日 ～ 5月22日	2名
	竹早教員保育士養成所	7月 5日 ～ 7月15日	2名
	こども教育宝仙大学	8月 2日 ～ 8月14日	2名
	大原簿記保育専門学校立川校	10月11日 ～ 10月 2日	2名
	聖徳大学	10月25日 ～ 11月 5日	2名
	大原簿記保育専門学校大宮校	12月13日 ～ 12月23日	2名
	合計 6校		12名
受入学校名		期間	人数
介護体験生		新型コロナウイルス感染予防のため受け入れを中止	0名

１２．施設見学の受け入れ

入所希望者	本入所 及び 短期入所希望者（本人及び家族等） 合計21名
就職希望者	4名
他施設・行政等	6名
その他	第三者評価機関：3名、 リサイクル関係：2名

１３．職員研修

（１）　施設内研修

実　施　日	研　修　内　容	対 象 者	備 考（講師・参考資料 等）
4月23日	感染症予防について	全支援員	講師：研修計画委員：笠谷係長 東京都福祉保健局監修のDVD 鑑賞 参考資料：「今すぐ役立つ！感染症予防」
5月27日	災害時の対応ついて	全職員	講師：防災委員・日浦支援員 発電機浄水機の使い方及び水消火器を使った消火実務訓練
6月18日	リスク・緊急時対応について	全支援員	講師：勉強会委員上野主任 参考資料：「緊急時対応マニュアル」等
7月16日	虐待防止について	全支援員	外部東社協講師を依頼する予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防・緊急事態宣言のため中止
8月26日	成年後見人制度について	全支援員	講師：塚本事務局長 参考資料：「成年後見制度」 「成年後見関係事件の概要」
9月17日	障害者虐待防止について	全支援員	講師：研修計画委員：笠谷係長・小室副主任 障害者虐待防止法研修の動画を見る 参考資料：「障害者虐待防止法研修」 ：「虐待防止法従事者向けワークシート」 ：「八王子美山学園の職員として支援をしていく中での姿勢について」
11月18日	八王子の歴史・文化財について	全職員	講師：冨貴澤本部長 参考資料：「八王子の歴史・文化財について」
1月21日	障害者虐待防止法について	全支援員	講師：研修計画委員：笠谷係長 参考資料：「権利擁護推進部会・権利擁護事例」 「障害者虐待防止法研修テキスト」
3月18日	アンガーマネジメントについて	全職員	講師：研修計画委員：小室副主任 参考資料：「怒りのコントロールアンガーマネジメント」







（2）　施設外研修・行政説明参加

研　修　内　容	主　　催	参加者 及び 参加者人数
障害者虐待防止法研修（オンライン）	八王子市障害者福祉課	女性支援員　1名 男性支援員　2名
東京都強度行動障害支援者養成研修（基礎）（オンライン）	東京都社会福祉協議会	女性支援員　2名 男性支援員　1名
強度行動障害支援アドバンス研修（オンライン）	東京都社会福祉協議会	男性支援員　1名
障害者グループホーム従事者基礎研修（オンライン）	東京都福祉保健局	男性支援員　1名
令和３年度スタートアップ研修（オンライン）	東京都社会福祉協議会	女性支援員　4名 男性支援員　1名
令和３年度初任者研修キャリアパス（オンライン）	東京都社会福祉協議会	男性支援員　1名
リーダー研修（オンライン）	東京都社会福祉協議会	男性支援員　1名
サービス管理責任者更新研修（オンライン）	公益財団法人総合健康推進財団	サービス管理責任者　3名
虐待防止・権利擁護研修（オンライン）	東京都社会福祉協議会	女性支援員　1名 男性支援員　1名
社会福祉事業従事者人権研修（オンライン）	東京都福祉保健局	女性支援員　4名 男性支援員　1名
東京都発達障害者支援協会支援スタッフ部会研修（オンライン）	NPO 法人東京都発達障害支援協会	女性支援員　1名
リスクマネジメント研修（オンライン）	東京都社会福祉協議会	女性支援員　1名
新任職員向けビジネスマナー研修	東京都社会福祉協議会	男性支援員　1名
障害者支援施設等の新型コロナウイルス感染防止対策研修（オンライン）　及び　施設巡回訪問研修	東京都福祉保健局	施設長　　1名 課長　　1名
障害者支援施設等支援力育成派遣事業報告会研修（オンライン）	東京都社会福祉協議会	課長補佐　1名
実効性のあるBCP 参考に向けて（オンライン）	NPO 法人東京都発達障害支援協会	施設長　　1名
日中活動支援部会全国大会研修（オンライン）	日本知的障害者福祉協会	施設長　　1名
栄養ケア・マネジメントについて（オンライン）	東京都社会福祉協議会	管理栄養士　1名
特定給食施設栄養管理講習会（オンライン）	八王子市保健所生活衛生課	管理栄養士　1名
障がい者のための栄養ケアマネジメント（オンライン）	東京都社会福祉協議会	管理栄養士　1名
食育研修会兼栄養管理講習会（オンライン）	八王子市保健所生活衛生課	管理栄養士　1名

１４．会議の開催

会　議　名	主　宰　者	開　　催　　回　　数
理事と家族会との連絡協議会	理事会・家族会	新型コロナウイルス感染症予防・緊急事態宣言のため中止
運営連絡会議	理事長	毎月１回
虐待防止委員会	委員長【施設長】	毎月１回
施設入所支援会議	施設長	毎月１回実施
グループホーム会議	施設長・担当係長	毎月１回実施
安全衛生委員会	施設長・産業医	新型コロナウイルス緊急事態宣言下及びまん延防止等重点措置期間は中止、４月～９月までは中止 開催月：１１月・１２月・３月実施
男・女各棟会議	主任	毎月１回実施
個別支援計画委員会	委員長【施設長】	毎月１回実施
ケース会議	委員長【施設長】	毎月１回実施
リスク委員会	委員長【施設長】	毎月１回実施
防災委員会	施設長・防火管理者	必要時
資金活用検討会	理事長	必要時
職員定着率向上対策検討会	本部長	必要時
栄養ケア委員会	管理栄養士	２ヶ月に１回実施
世話人話合い	共同生活係長	年2回

１５．財務・事務管理

情報公開・開示	当法人の情報公開・開示規程を遵守し、ホームページにより法人情報は原則公開したほか、年２回（４月・１２月）、機関紙「やまゆり通信」を発行
個人情報保護	当法人の個人情報保護規程に基づき、利用者等関係者の個人情報保護に努めた。
苦情対応	当法人の苦情対応規程に基づき、利用者等の苦情に迅速に対応する態勢を維持した。
契約の公正・透明性の確保	随意契約については原則、見積りを徴し、契約の公正性と透明性の確保に努めた。
事務管理の適正化	文書管理規程・法人印章規程・会計規程に基づき事務処理を実施
第三者評価	外部評価機関による福祉サービス第三者評価を、美山学園施設入所支援事業は１６年連続で受審したほか、共同生活援助事業も第三者評価を受審し、サービス向上の成果が評価された。 結果は東京都及び本法人のホームページに掲載

16. 地域貢献

美山地域福祉連携会議	美山町会及び八王子市社会福祉協議会と美山地域内の7社会福祉法人による福祉連携会議参画 ※新型コロナウイルス感染症予防・緊急事態宣言のため中止
配食・安否確認サービス	美山地域福祉連携会議に基づく独り暮らしの地域高齢者への安否確認を兼ねた配食サービスを実施
健康体操&茶話会	美山地域福祉連携会議に基づき、毎月1回（第4金曜日）　町会の方を対象に健康づくり体操&茶話会を実施（送迎有） ※新型コロナウイルス感染症予防・緊急事態宣言のため一時中止
やまゆりホール貸出し	美山町会定時総会、美山保育園、美山地域福祉連携会議、八王子砕石組合 等
マイクロバス貸し出し	町会行事等への貸し出しは、新型コロナウイルス感染症予防のため中止